



## この世はねじで出来ている



国籍	モンゴル
職種	機械検査
実習実施者	藤田螺子工業株式会社
監理団体	九州ネット協同組合

### バトバヤル ボロルチメグ BATBAYAR BOLORCHIMEG

私は、一年半くらい前に実習生として来日して、ねじを作る工場で検査の仕事をしています。私の工場で見た標語に「この世はねじで出来ている」がありました。初めて私はこの言葉を聞いた時、ねじは、太陽とか水とか空気とか生きる為に必要な物ではないのにと驚きました。でも、日が経つにつれ、言葉の意味が分かるようになりました。

私は、故郷を離れ日本に来たころは、家族の事を思い出すと、本当に寂しくなり、慣れない仕事と文化と環境の違いによって、涙する日もありました。だけど私はとにかく3年間は頑張る事に決めていたので頑張ることにしました。

3年間は長く感じていましたが、いつも助けてくれる周りの人々のお陰で、私の意識と考えが変わりました。

私の会社では、実習生の担当しているおじさんが、毎月私たちと会って色々な相談を聞いてくれます。ある日私たちに質問をしました。「何か、困った事はありますか?」と聞かれ、私は「何か、困った事があればいつも上司と同僚たちが助けてくれます。朝、作業場が寒かったら、暖房をつけてくれたり、壊れた物があれば、直

してくれたり、色々手伝ってくれるので本当に嬉しく思います。」と答えました。おじさんは、「日本では、協力する事が大切です。車を見てください。車は、一つの会社だけでは作れません。各会社で部品を作り、それを協力し合わせて1台の車になります。これと同じ様にうちの会社で作っているねじも、一つの会社一つの部品になります。椅子に付いているねじが折れたら、座っている人は怪我をするかもしれません。それが車の大事な部品だったら人が死んでしまうかもしれません。ねじ一つでも不良を作ったら協力した色々な人に迷惑をかけてしまいます。みんなそうゆう気持ちで協力しています。」と言いました。私は周りを見て気付きました。日常には沢山のねじが使われています。メガネ、携帯電話、椅子、机や建物、電車、飛行機ほとんどの物に必要な部品です。

ねじは、見た目は小さいが、文句を言わないで色々な物を繋ぎ止めます。人間もねじの様に自分の出来る事をし、他の人々を支える気持ちがあれば、幸せな世の中になると思います。例えば、お金持ちとか、人気があるとか、才能がある人ばかりではなく、人は星の数ほどいます。人間の価値は、お金ではなく、人を支える気持ちをねじは、教えてくれました。日本人は、仕事を真剣に責任感を持ち、自分のことよりまず他人の事を思う心が素晴らしいです。「この世はねじで出来ている」私はこの言葉の意味が分かるような気がしました。私にとっては、人もねじで繋ぎ止めているように思います。

そして、私も帰国したら母国モンゴルと色々な事を学んだ日本をねじみたいに繋ぎ止める一つになれば良いと思います。